

データベース部門

データベース部門の活動について

データベース部門長/工学部 金丸 邦康

データベース部門は平成16年12月情報メディア基盤センターへの改組に伴って設置されました。現在、学内で様々なデータベースが運用されており、大学の高度情報化を推進する上で極めて重要な情報資産となっています。そこで、私たちは以下のような活動を通じて、データベースの活用促進を図っております。

- (1) 学内データベース（主に学術系）についての情報活用推進
- (2) データベースに関する設置等の技術相談
- (3) データベース活用のための情報収集（各種講演会・シンポジウム・学会等への参加）
- (4) 個人情報認証に係る技術支援や研究開発に関連した活動

昨年度のデータベース部門の主要な活動は以下のとおりです。

活動	概要
学内の各種委員会等活動	データベース部門メンバーが情報関連を中心に学内委員会等にて委員として出席しました。
学内の業務系データベースの調査	主要な業務系について調査しました。
認証基盤の調査及び本学統合認証基盤導入に向けた活動	大学統合認証基盤（UPKI）や他大学が独自に導入した統合認証基盤について調査するとともに、本学における構築形態について検討を行いました。
情報セキュリティに関する最新動向調査	情報セキュリティの技術、管理・運用、ルール整備やサービス展開等についての最新動向を研究会などに参加し調査しました。
個人情報保護研修会における講演	総務部の依頼により、2008年6月24日に中部講堂で個人情報保護の考え方、情報セキュリティのあり方などについて講演を行いました。
医学部保健学科新入学生合宿研修における講演	医学部保健学科の依頼により、2008年4月13日に国立諫早少年自然の家にて、情報モラルについて講演を行いました。

次のページからデータベース部門の個別の活動について紹介します。